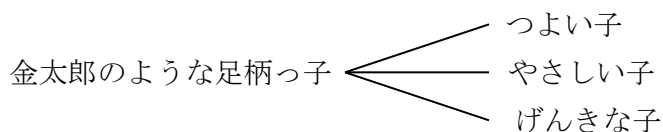


令和元年度 小山町立足柄幼稚園評価「自己評価書」

1 教育目標



2 重点目標及び具現の方策

『自ら心を動かし、生き生きと遊べる子』の育成

- ・一人一人が安心して遊び出し、自分の思いや考えを表現できるよう援助をする。
- ・複式クラスの中でのかかわりを深められるような環境構成の工夫をする。
- ・身近な自然環境の中で、直接体験や感動体験を多くし、豊かな心を育む。
- ・幼・小・保・地域の人々との連携を密にして、教育効果を高めていく。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
保育計画・教育課程	B		B	A
保育指導	B	・他園、小学校との交流を例年より増やしたことで、大集団での友達との接し方や対処の仕方等を多く学ぶことができた。	B	A
保健管理・食事	A		A	A
安全管理	A	・毎月の室内、戸外等の安全点検や避難訓練で、安全を確認した。	A	A
特別支援教育	B	・特別支援教育について保護者と理解を深めた上で、連携を図っていく必要がある。	B	
組織運営・情報管理	B		B	A
研修	B		B	
教育目標・園目標	B		B	A
情報提供	A	・園だより、学年だよりのお便りだけでなく、降園時にその日の保育を伝える工夫をしていく。	A	A
保護者・地域との連携	B	・地域の人材を保育にいかす事ができた。 ・保護者と担任との信頼関係	B	B

		係が今一步であったので、連絡帳などで子どもの様子を知らせる等、つながりがより深まるよう努めた。		
子育て支援	B		B	A
施設・設備	B	・季節に応じた環境構成を考えていく。 ・芝生が大いに活用されている。	B	A

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
研修や保育指導の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の振り返りを大切に、反省と課題を明確にし、見直しをもった保育が展開できるよう心掛ける。そして職員間のカンファレンスを多く持ち共通理解に努める。 ・園目標の理解とともに、保育環境の工夫を心がける。
幼・小・保・地域との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・園から外部へ出かけたり、園に招く等、園から発信し触れ合いの機会を多く作り、生活が豊かになるようにしていく。 ・小学校の交流においては小学生との交流のみに終わらず、職員の研修等の交流も深め共通理解を図っていく。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携をもち、指導を仰いだり、保護者と情報を共有しながら、焦らずにその子にあった発達の援助ができるようにしていく。 ・また園全体で考えていけるよう話し合いの場を多く設け、共通理解をもつ必要がある。

5 評価全体を通して

- * 小規模園のよさを生かした保育指導が行われるように、教師一人一人が毎日の保育を振り返り、明日の保育につなげていけるように取り組んでいる。職員間の共通理解や意見交換がとても重要であると考え、自ら伝えようとする態度が望ましいと考える。また報告・連絡・相談を密にすることができやすい雰囲気作りが大切だと感じている。